学校番号	1006

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	世界の歴史　改訂版　（山川出版社）						
副教材等	歴史展示館　世界史のパビリオン　（とうほう）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

古代から現代までの世界の歴史を幅広く学びます。
なじみのない海外の地名や人名に早く慣れていくことで､授業の内容がより理解しやすくなると思います。

2　学習の到達目標

近･現代を中心とする世界の歴史を諸資料に基づき、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心に､古代から現代にかけての世界の歴史に対する関心を高め､意欲的に追究している。	近現代史を中心に､古代から現代にかけての世界の歴史を日本の歴史と関連付けて、多面的･多角的に考察し､その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心に、古代から現代にかけての世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取り、図表などにまとめている。	近現代史を中心に、古代から現代にかけての世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。
評価方法	定期考査 授業態度 授業ノート・プリント	定期考査 授業態度 授業ノート・プリント	定期考査 授業態度 授業ノート・プリント	定期考査 授業態度 授業ノート･プリント

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	古代～中世～近代	世界の諸文明 世界の一体化の始まり	○	○	○	○	a:各地域に形成された諸文明の特質・ヨーロッパ人の海外進出や世界商業の進展に対する関心を高め、意欲的に追究している。 b: 各地域に形成された諸文明の特質・ヨーロッパ人の海外進出や世界商業の進展について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 各地域に形成された諸文明の特質・ヨーロッパ人の海外進出や世界商業の進展についての諸資料から情報を読み取り、図表などにまとめている。 d: 世界の諸文明の特徴・商業の進展を中心として世界が一体化に向かう過程について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 授業態度 授業ノート プリント
2	近代	近代の世界 急変する人類社会 帝国主義時代	○	○	○	○	a:主権国家体制の成立・アジアの諸帝国の政治と社会の特質に対する関心を高め、意欲的に追究している。 b: 主権国家体制の成立・アジアの諸帝国の政治と社会の特質について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 主権国家体制の成立・アジアの諸帝国の政治と社会について諸資料から情報を読み取り、図表などにまとめている。 d: 主権国家体制の成立・アジアの諸帝国の政治と社会の特質について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 授業態度 授業ノート プリント

3	現代	二つの世界大戦 平和と冷戦 現代世界と日本	○	○	○	○	a:19 世紀以降に見られる社会の急激な変化と時代の特質・２つの世界大戦の影響と平和の意義などに関する関心を高め、意欲的に追究している。 b: 19 世紀以降に見られる社会の急激な変化と時代の特質・２つの世界大戦の影響と平和の意義などについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 19 世紀以降に見られる社会の急激な変化と時代の特質・２つの世界大戦の影響と平和の意義などに関する諸資料から情報を読み取り、図表などにまとめている。 d: 19 世紀以降に見られる社会の急激な変化と時代の特質・２つの世界大戦の影響と平和の意義などについて理解し、その知識を身につけている。	定期考査 授業態度 授業ノート プリント

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。